

薬を飲んでいられる方も 献血ができることを知らせて

遠藤ハル子議員

質問 旭川血液センターとの連携で比布町役場や農協などにも献血車が来ています。献血できる年齢や前回の期間、体調のすぐれない人、病気の人など制限がありますが、薬を飲んでいたらできないと思います。具体的な薬を広報で知らせ明記したほうがいいのではないかと思います。

町内での1年間の献血者延べ人数、どのような連携をしているのか、献血者を増やしていくための啓発・啓蒙を今後どのような



役場・農協等を巡る献血車ひまわり号

うにしていくか町長に伺います。

町長答弁 町内の献血者延べ人数は123人、4万6千ミリリットルの献血にご協力いただいています。血液センターとの連携は比布町献血推進協議会が実施し、社会福祉協議会が事務局を務め、町では事務・広報経費の6万8千円を補助し、啓発推進をしています。薬の種類を限定して献血の可否を周知するの

小・中学校のパソコン教育 機器の整備充実を

遠藤ハル子議員

質問 教育における情報機器の活用はこれまで以上に重要です。指導要領の電子化を進める小学校は平成23年度から中学校は平成24年度から完全実施、教員へのパソコン配布と校務用ネットワークの整備が急務であるとの指導がされています。比布町の現状はどこまで進んでいますか。

中学校の子どもたちのパソコン

次回の献血車ひまわり号の来町は…
2月5日(火)



はかえって混乱を招くので、血液センターでもしておりません。献血をしてくれる人を増やしていく方法を考えていかななくてはなりませんので、献血のお知らせと一緒に良い方法を考えていきたいと思っています。

は平成17年8月の購入で、かなり古くなり教育効果が落ちてきています。最新のものを購入しこれからのIT社会に備えてはどうですか。

また、編集・加工できるパソコンは、各学校には最低1台以上は必要です。パソコン教育機器の整備充実について教育長の考えを伺います。

教育長答弁 新しい学習指導要



中学校での授業の様子

領の改訂により情報教育や授業におけるICT活用の一層の充実が図られることとなりました。各教科において教員と児童生徒のICT活用等を通じて情報活用能力の育成の機会が増大が期待され、また校務にもICT活用をすることにより効率化や学校経営の改善といった変化も求められています。

現行の校務システムで事務の効率化など十分にできていますので、道教委のシステム導入には相応な費用負担が掛かることから本年度の導入は見送っています。

パソコン機器等の故障、不具合等について、学校の要望に応じてその都度修繕や更新によって対応してきています。

第3回定例会

12月28日
9月23日

平成23年度歳入歳出決算を認定

平成23年度の一般会計と7特別会計について、監査委員の決算審査(7月26日から8月17日の実質9日間)を受け、その意見書等を付して認定を求められました。ただちに決算特別委員会(委員長・那須莞爾)を設置し、審議の結果、那須委員長より「認定すべき」との報告を受け、認定することに決定しました。(審査内容の要点は6・7ページをご覧ください。)

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告
法の規定により、平成23年度決算に基づく健全化判断比率等を報告するもので、町の財政運営状況が報告されました。

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦
任期満了に伴い、法務大臣に対し候補者を推薦するため議会の意見を求めるもので、引き続き飛田政幸氏を適任とすることに決定されました。

◆教育委員会委員の任命
任期満了に伴う教育委員の任命について議会の同意を求め、引き続き安藤裕子氏が任命されました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴う固定資産評価審査委員の選任について議会の同意を求め、新たに山崎誠一氏が選任されました。

承認

◆専決した事件の承認
平成24年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出予算にそ

補正予算

◆平成24年度一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算にそれぞれ1076万3千円を追加し、総額33億5247万8千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第2号)
歳入歳出予算にそれぞれ112万円を追加し、総額6億9118万円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成24年度観光事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算にそれぞれ89万3千円を追加し、総額1億1206万8千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成24年度宅地開発事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ16

意見書を提出

第3回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

〔提出先〕
衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、国家戦略担当大臣

6万円を追加し、総額548万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は12日に開会の予定です。詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。皆様の傍聴をお待ちしています。

